

IPO銘柄 M&Aキャピタルパートナーズ (6080・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
6080	100株	公募: 15.0万株 売出: 0.0万株 (OA2.25万株)	2,800円~3,000円 (18.3倍)	野村証券



中堅・中小企業を中心としたM&A仲介事業を展開

■ 事業内容

M & A (企業の合併・買収) 仲介を手掛ける。売り手企業と買い手企業の間に立ち、アドバイザー業務を主に提供して着手金、中間報酬、成功報酬を受領するモデル。売り手企業のオーナーがM & Aを検討する段階から、買い手企業の選定、基本合意に向けた調整、買収監査の補助などを行いM & Aの成立をサポート。基本合意が行われた時点で着手金、または中間報酬の名目で、最終的な成立時に受領する成功報酬の10%を受領する。案件は手数料総額が1億円未満のものが中心で、業種は小売業、卸売業が多い。M & A仲介の単一業態。

■ 特徴

経営者の高齢化を背景に事業継承のニーズは高まっている。情報収集の上で譲渡候補先の中堅・中小企業オーナーに対する直接説明、提案を行うほか、潜在的なニーズのあるオーナーに向けてはM & A関連ニュースやメールマガジンの定期配信による情報の提供を通じた認知度向上を図っている。セミナーの定期開催による啓蒙活動なども広く行っている。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年9月期の非連結経常利益は前期比2.9%減の5億8,200万円を計画する。13年9月期に案件数が大きく増えたことや、大型案件があったことなどから、その反動もあり減益となる見込み。業績のブレ幅が大きくなりやすい業態ながら、M & Aの需要は堅調であり、業績面には安定感がある印象だ。

■ 定性分析

経営者の高齢化を背景とした中小企業のM & A需要は増加傾向にあり、仲介業務で活躍する企業としての成長イメージは強い。中途採用を積極的に行うなど、拡大する需要の取り込みに力を入れている。類似企業である日本M & Aセンターの好業績も好材料。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は5.2億円程度。ベンチャーキャピタル保有株はあるが、軽量級の案件として需給妙味が大きい。IPOマーケットは非常に好況であり、地合いも相まって人気が高まりそうだ。ただ、メディアドウ<3678>と同日上場であることは懸念材料。(小泉 健太)

■ 類似企業

M & Aキャピタルパートナーズ (6080・マザーズ)	予想PER18.3倍 (仮条件上限)
日本M & Aセンター (2127・東証1部)	予想PER46.4倍
GCA サヴィアン (2174・東証1部)	予想PER-

■ 引受証券

野村証券、岡三証券、SBI証券、エイチ・エス証券、東海東京証券、SMBCフレンド証券、いちよし証券、丸三証券、みずほ証券、水戸証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年9月期(実績)	1,073	87.8	577	2.2倍	301	2.0倍	151.5	—
13年9月期(実績見込み)	1,157	7.8	600	3.9	331	9.8	166.4	—
14年9月期(会社予想)	1,302	12.5	582	▲2.9	347	4.9	163.9	—

※ 13年5月に株式分割(1株→2,000株)を実施。12年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年9月期	995	724	452	49	227.4	62.5	39.5
12年9月期	995	1,300	754	49	379.0	58.0	50.0

※ 11年9月期および12年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	中村 悟	1,328,000	58.71
2	十亀 洋三	240,000	10.61
3	JAIC-IF3号投資事業有限責任組合	168,000	7.43
4	投資事業組合オリックス10号	150,000	6.63
5	土屋 淳	76,000	3.36
6	日本アジア投資	72,000	3.18
7	中村 陽子	32,000	1.41
8	岡村 英哲	30,000	1.33
9	櫻井 哲博	28,000	1.24
10	渡邊 研	20,000	0.88

経営陣

	役職	氏名
	代表取締役社長	中村 悟
	取締役 営業企画部長	十亀 洋三
	取締役 企画管理部長	佐々木 輝
	取締役	西澤 民夫
	常勤監査役	邊田 信行
	監査役	藤本 幸弘
	監査役	中森 真紀子

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会